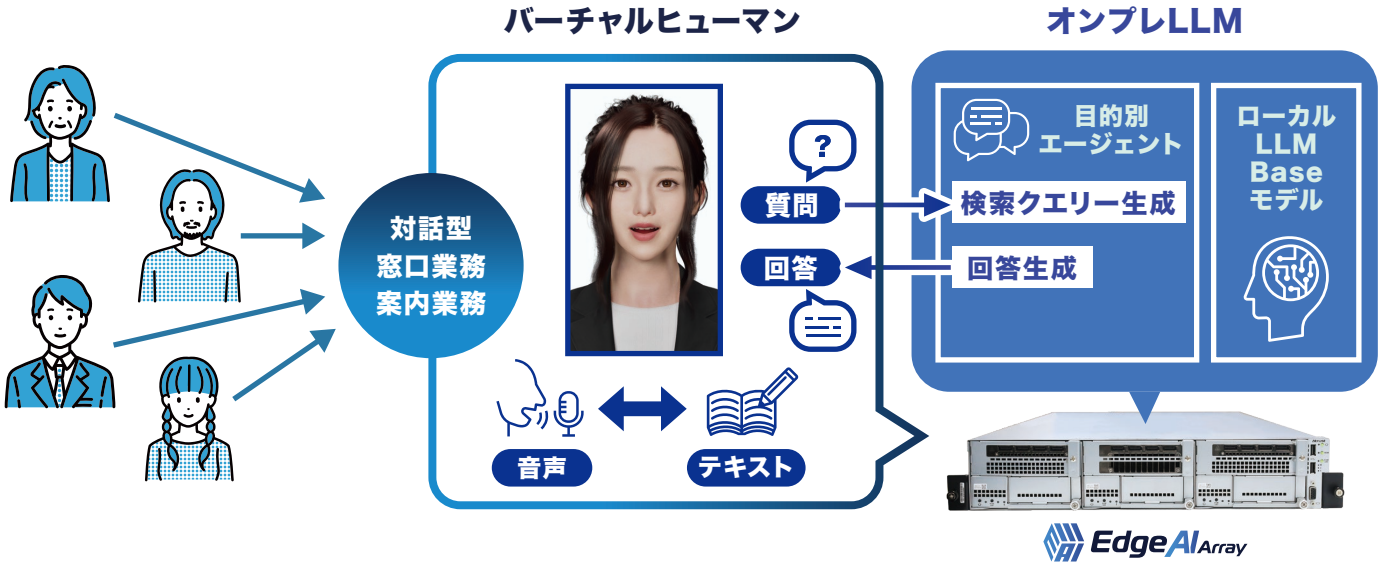
バーチャルヒューマンに最適な
オンプレミスAIプラットフォーム

EdgeAIArray

◆ 主な特長と導入効果

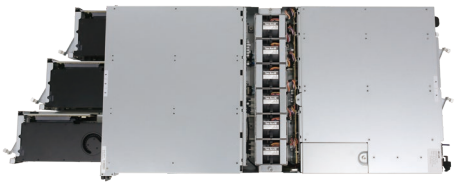
- EAA (2U) 1台で LLM、VH3人を集約
- AI利用における個人情報、企業情報を保護
- オンプレ型システムで高セキュリティ
- 人手不足解消、待ち時間解消
- 高速、正確、多言語対応

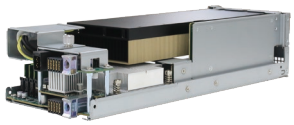
◇ 利用イメージ



◇ Edge AI Arrayとは

「Edge AI Array」は2U筐体内に、NVIDIA製AI向けGPUを最大5基搭載可能です。これにより、AIの頭脳にあたるLLM/RAG用システムと、AIの身体にあたる複数のフロントエンド処理システムを、1つの筐体で統合的に構成でき、バーチャルヒューマンに最適なプラットフォームとしてご利用いただけます。





◇ 導入シナリオ

- 自治体 来庁者窓口、外国人住居者対応
- 自治体/ホテル インバウンド対応
- 介護入居者話し相手
- 自動車販売店1次営業
- ホテル コンシェルジュ

◇ 仕様

シャーシ	
ノード数	5
寸法(mm)	2U:86(H)× 430(W)× 864(D)
内蔵コンポーネント	最大5ノード、KVMスイッチ、イーサネット スイッチ、マネジメントコンソール、リモートKVM
電源	3,200W Titanium ホットスワップ電源 ×2(200–240 VAC)
動作湿度	10% ～ 90%(結露しないこと)
動作温度	5℃ ～ 35℃
インターフェース	【背面】10 GbE(RJ45)×2、25 GbE(SFP28)×4、マネジメントポート(1 Gb RJ45)×1 【前面】VGA ×1、USB 2.0 ×2

ノード	
サポートOS	Microsoft Windows 11 Pro Ubuntu 24.04 LTS Ubuntu Server
CPU	Intel Core i7-14700
メモリ	DDR5 UDIMM x 4、最大 192 GB(デュアルチャネル)
PCIeスロット	FHFL PCIe x16(デュアルスロットGPU対応)×1
GPU対応 (ノード数別)	最大5ノード:NVIDIA RTX PRO 4000 Blackwell 最大3ノード:NVIDIA RTX PRO 6000 Blackwell Server Edition ※最大ノード数は構成によります
ストレージ	512GB M.2 NVMe SSD / 2TB M.2 NVMe SSD
ネットワーク	各ノードあたり 10 GbE ×2

●このカタログで使用されている製品の写真は出荷時のものと一部異なる場合があります。また、仕様は事前の告知なしに変更する場合があります。
●このカタログの情報は2026年3月現在のものです。
●本印刷物に掲載する社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

ascentech

アセンテック株式会社 www.ascentech.co.jp

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3 大東ビル9F
TEL：03-5296-9331（代表）FAX：03-5296-9332
E-mail：eigyo@ascentech.co.jp